

新校舎棟 2025年春 竣工

※新校舎(管理棟)は2026年春竣工予定。

新校舎『あつマルハコ』で
個性の芽が花ひらく

あつまることで学びがひろがり

点と点がつながり線がむすばれる

むすばれた線はやがて地域にひろがる。

60周年特設サイト

詳しくはこちら



ZEBの基準を満たした新校舎 未来の環境に貢献するために

ZEB(Net Zero Energy Building)とは、快適な室内環境を保ちながら、省エネルギーを目指した建物です。校舎棟は、現行の省エネ基準よりも快適な環境を保ちながら6割を超えるエネルギー削減率となっており、地球環境の保全に大きく貢献しています。省エネルギーを実現するための大きな特徴として、校舎棟外壁の外側へガラスの膜を設け、さらにガラスに白い組子模様のシートを張り付けることで、レースのように日射を遮断し、太陽熱が建物内に入り込まないよう工

夫しています。また、外壁とガラス膜とは約60cm離れており、夏季には暖められた空気が上昇して上部から排気されることで建物内に熱が溜まらない構造であるとともに、空気が上昇する力を利用して建物内部の空気を吸引することで換気エネルギー削減にも寄与しています。逆に冬季には上部の排気口を綴ることにより空気の動きを止め、太陽光で暖まった空気を留めることにより、建物全体の放熱を軽減し、暖房に使用するエネルギーを削減します。

環境省:ZEB PORTAL
1.ZEBとは?



学長メッセージ

岡山商科大学 学長 井尻 昭夫

あなたの周りの草木の姿を見てごらん。それぞれが伸びてゆく時期も、スピードも異なっていますね。しかも同じ種類であってもその置かれた環境でそれぞれが異なっているでしょう。4年後には、あなたは社会人。自由な伝統ある本学であなたの個性を発見し、それを磨こうではありませんか。4年後の望むところの「自分」を目指して、限りなく自分を信じて力強く歩みましょう。明日の自分のために……

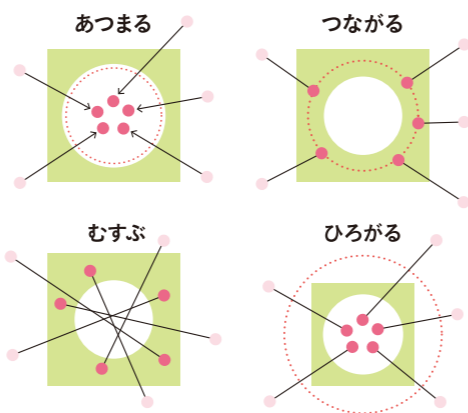


CONCEPT あつマルハコらぼ

新校舎は、
様々な人が集まり拡散する「マル」
知識と経験を集積する「ハコ」
 によって構築されています。

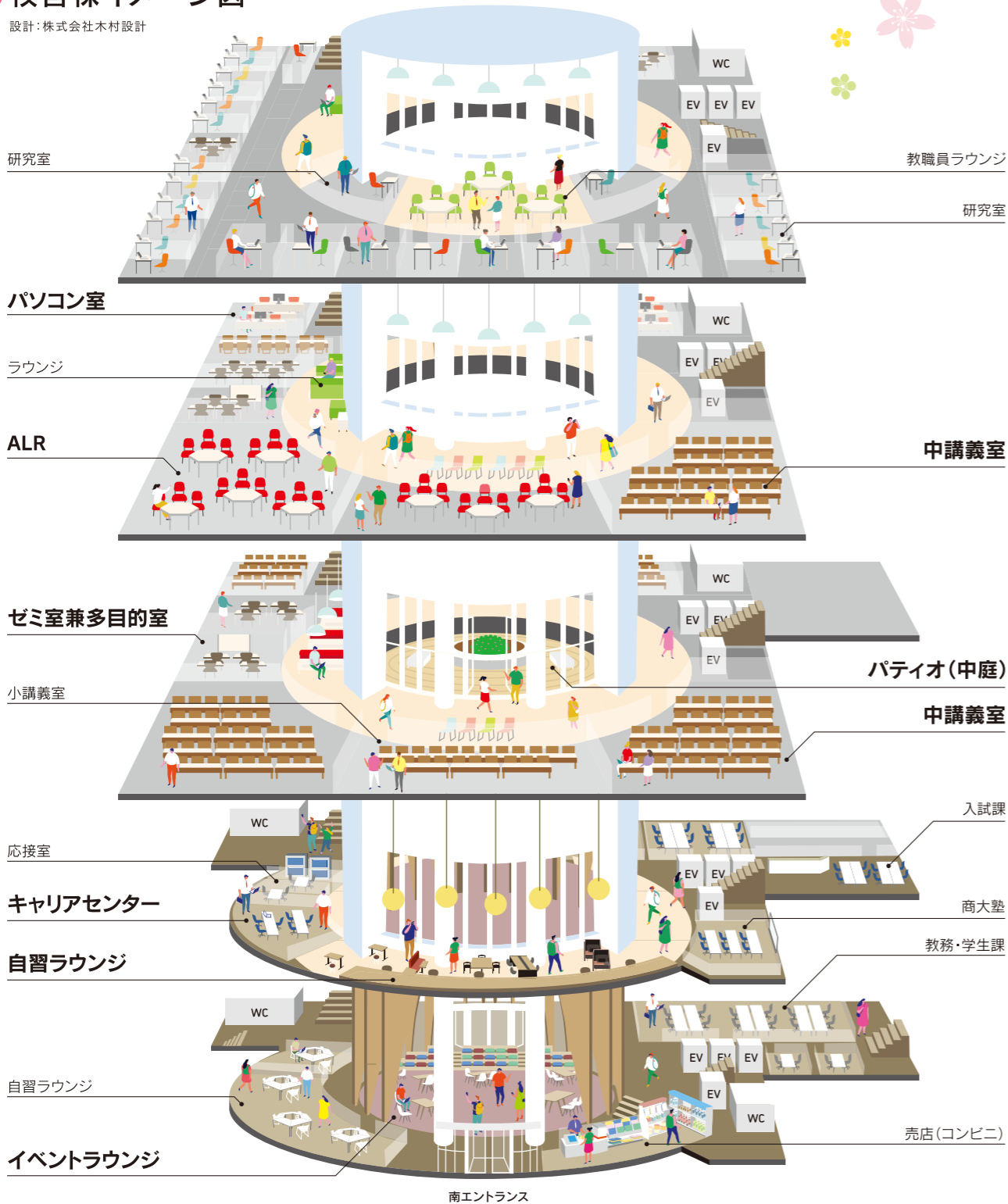
校舎棟の中心は**円形(マル)**。人が集まることで、人や場、モノ・コトが結ばれ、学びが広がり、そこから知識や経験が地域に拡散していく。

将来を担う様々な人々が成長するための「マル」を軸にしています。また、講義室や研究室は**四角い箱(ハコ)**。人が「ハコ」の中で知識と経験を集積し、そこからやりたいことを見つけ、様々な形に展開させる。そして、マルの中で集まり、昇華され、個性の芽が地域で花ひらく、という願いをこめて、『あつマルハコらぼ』というコンセプトにしました。



校舎棟イメージ図

設計：株式会社木村設計



新校舎(管理棟)



2026年春に竣工予定。管理棟はレンガタイルで構成され、大学の伝統をイメージ。

パティオ(中庭)



3階中央に位置し、晴れた日には日差しが降り注ぎ、やさしさと憩いの空間となります。

イベントラウンジ



普段は憩いの場所、イベント時にはステージや席を配置し、ホールとして使用します。

自習ラウンジ



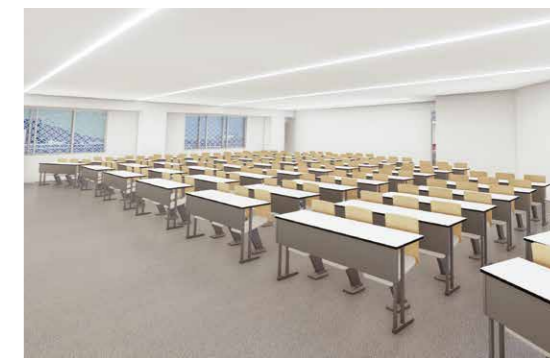
自習ラウンジは各所に配置され、学生は各々過ごしやすい環境で学べます。

アクティブラーニングルーム(ALR)



講義室で学んだ知識を実践型教育で活かす前に、能動型教育により問題解決能力を養います。

中講義室



ぬくもりや落ち着きを感じられ、授業に集中しやすい環境となっています。

パソコン室



新しく整えた教室で、専任教員がプログラミングや情報分析などを教えます。

ゼミ室



講義室と同じフロアにあり、学科の隔たりなく、横断的に学びがひろがります。